

山形県経済動向月例報告

(令和元年12月の経済指標を中心として)

令和2年2月10日

本県経済は、緩やかな回復の動きがみられるものの、一部に弱さがうかがわれる。

個人消費は、持ち直しているものの、このところ一部に足踏み感がみられる。

鉱工業生産は、このところ足踏みをしている。

雇用情勢は、引き続き改善している。




目次

	ページ
I 山形県の経済動向	1
II 全国の経済動向	3
III 東北の経済動向	3
IV 各種経済指標	
第1-1表 百貨店・スーパー（2業態）販売額、6業態合計販売額	4
第1-2表 コンビニエンスストア等4業態販売額	5
第2表 新車登録届出台数	6
第3表 新設住宅着工戸数	7
第4表 鉱工業生産・在庫・出荷指数	8
第5表 山形県主要業種別生産指数	9
第6表 山形県主要業種別在庫指数	10
第7表 新規・有効求人倍率	11
第8表 賃金・労働時間・雇用指数	12
第9表 企業倒産	13
第10表 消費者物価指数	14
第11表 公共工事請負金額	15
(参考) 山形県その他の経済指標	16
全国その他の経済指標	17

山形県企画振興部統計企画課

※ 本日の資料では割愛

先月との比較

	1月	判断の 変化方向※	2月
総括判断	本県経済は、緩やかな回復の動きがみられる。		本県経済は、緩やかな回復の動きがみられるものの、一部に弱さがうかがわれる。
個人消費	個人消費は、一部に弱さがみられるものの、持ち直している。		個人消費は、持ち直しているものの、このところ一部に足踏み感がみられる。
鉱工業生産	鉱工業生産は、このところ足踏みをしている。		(同じ)
雇用情勢	雇用情勢は、引き続き改善している。		(同じ)

※矢印は基本的な傾向の変化を表しています。

I 山形県の経済動向

概況

本県経済は、緩やかな回復の動きがみられるものの、一部に弱さがうかがわれる。

判断の変化方向

前月比



判断の変化方向

前月比



◎ 個人消費 … 持ち直しているものの、このところ一部に足踏み感がみられる。

- 百貨店・スーパー（2業態）販売額は、全店舗ベースで3か月連続で前年を下回り、既存店ベースでは2か月ぶりに前年を下回った。
コンビニエンスストア等4業態合計販売額は、2か月連続で前年を下回った。
新車登録届出台数は、3か月連続で前年を下回った。

- ・百貨店・スーパー（2業態）販売額
R1.12月（全店舗） 14,383百万円
前年比（全店舗）△2.9%
（既存店）△2.2%

- ・コンビニエンスストア等4業態合計販売額
R1.12月（全店舗） 18,206百万円
前年比（全店舗）△0.5%

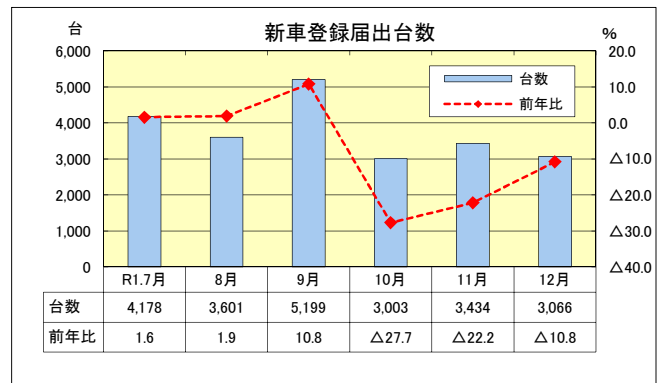
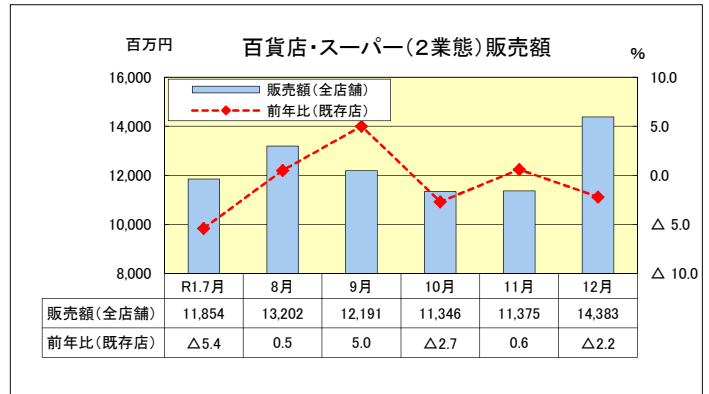
（参考）

6業態合計販売額は、3か月連続で前年を下回った。（第1-1表参照）

R1.12月（全店舗） 32,589百万円
前年比（全店舗）△1.6%

- ・乗用車（軽を含む）の新車登録届出台数
R1.12月 3,066台（前年比△10.8%）
車種別

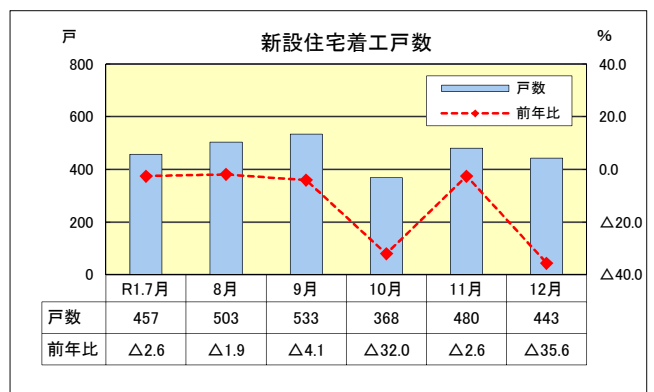
普通乗用車 856台（前年比 1.1%）
小型乗用車 942台（前年比△10.9%）
軽自動車 1,268台（前年比△17.2%）



○ 住宅建設 … 前年の水準を下回った。

- 住宅建設は、持家、貸家及び分譲住宅の全てにおいて減少したため、全体でも6か月連続で前年の水準を下回った。

- ・新設住宅着工戸数
R1.12月 総戸数 443戸（前年比△35.6%）
利用関係別（主なもの）
持家 216戸（前年比△17.9%）
貸家 119戸（前年比△41.7%）
分譲住宅 108戸（前年比△51.1%）



判断の変化方向

前月比



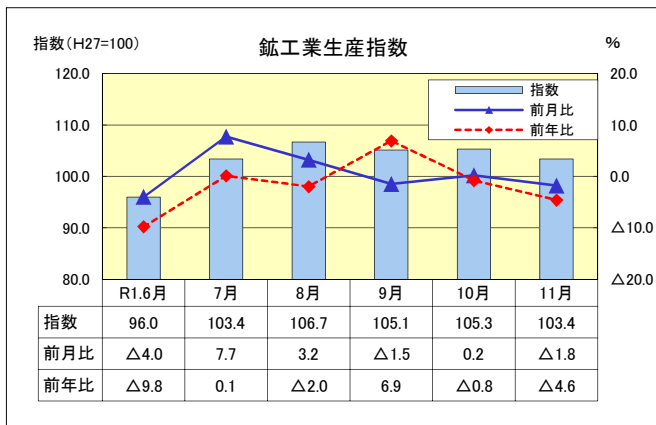
◎ 鉱工業生産 … このところ足踏みをしている。

- 鉱工業生産指数（季節調整済）は、汎用・生産用・業務用機械工業や家具工業などの生産が減少したことから、前月比で1.8%低下し、2か月ぶりの低下となった。
また、前年比（原指数）でも4.6%低下し、2か月連続で前年を下回った。

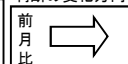
- ・鉱工業生産指数（R1.11月）
季節調整済指数 103.4（前月比△1.8%）
原指数 107.0（前年比△4.6%）
業種別（前月比）
低下：汎用・生産用・業務用機械工業、家具工業など13業種
上昇：情報通信機械工業、輸送機械工業など8業種

主な業種の生産指数

	前月比	前年比
電子部品・デバイス工業	105.9(0.8%、△ 0.6%)	
汎用・生産用・業務用機械工業	75.5(△19.9%、△30.0%)	
食料品工業	101.8(0.0%、△ 3.0%)	
情報通信機械工業	200.0(11.3%、56.9%)	
輸送機械工業	111.0(3.7%、△ 6.7%)	
化学工業	104.0(△ 1.2%、△ 4.8%)	
電気機械工業	102.0(1.1%、△ 6.2%)	



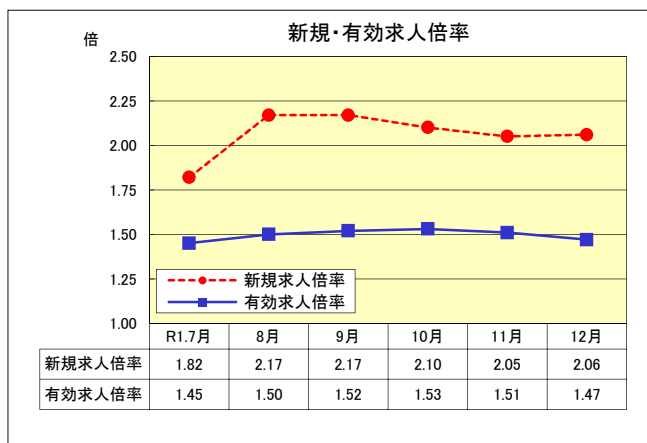
判断の変化方向



◎ 雇 用 情 勢 … 引き続き改善している。

○有効求人倍率 (季節調整値) は、前月を0.04ポイント下回り1.47倍となった。

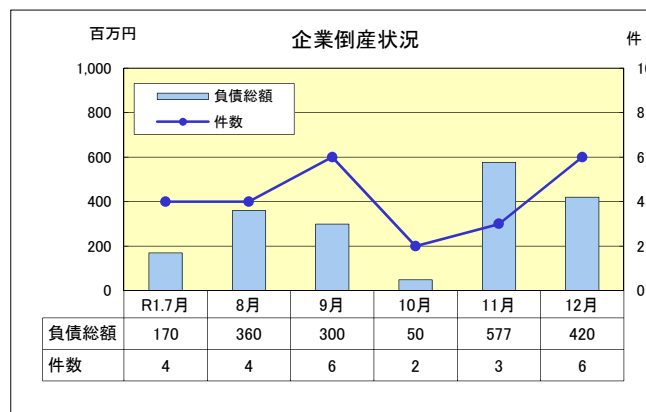
- ・雇用情勢 (R1.12月)
 - 有効求人倍率 1.47倍 (前月比 △0.04^ポ)
 - 〃 (正社員) 1.18倍 (前年比 △0.07^ポ)
 - 新規求人倍率 2.06倍 (前月比 0.01^ポ)
 - 雇用保険受給者数 3,227人 (前年比 11.7%)



○ 企 業 倒 産 … 件数及び負債総額ともに前年を上回った。

○企業倒産は、件数及び負債総額ともに、前年を上回った。

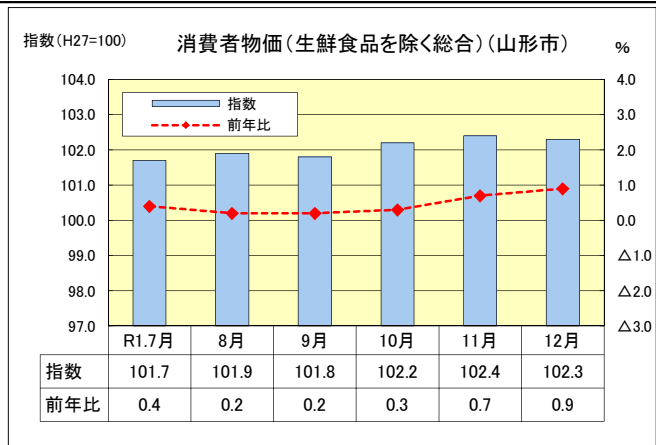
- ・企業倒産状況 (R1.12月、負債総額1千万円以上)
 - 件数 6件 (前年比 20.0%)
 - 負債総額 4億2,000万円 (前年比 124.6%)



○ 物 価 … 前年の水準を上回った。

○消費者物価指数 (生鮮食品を除く総合) は、前年の水準を上回った。

- ・消費者物価指数 (R1.12月、山形市)
 - 総合指数 102.3 (前年比 1.0%、前月比 0.0%)
 - 生鮮食品を除く総合指数 102.3 (前年比 0.9%、前月比 △0.1%)
 - 生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数 101.9 (前年比 0.9%、前月比 △0.1%)



(注) 前年比とは前年同月比のことである。

II 全国の経済動向（内閣府 月例経済報告 令和2年1月22日）

（我が国経済の基調判断）

景気は、輸出が引き続き弱含むなかで、製造業を中心に弱さが一段と増しているものの、緩やかに回復している。

- ・個人消費は、持ち直している。
- ・設備投資は、緩やかな増加傾向にあるものの、一部に弱さがみられる。
- ・輸出は、弱含んでいる。
- ・生産は、一段と弱含んでいる。
- ・企業収益は、高い水準にあるものの、製造業を中心に弱含んでいる。企業の業況判断は、製造業を中心に引き続き慎重さが増している。
- ・雇用情勢は、改善している。
- ・消費者物価は、このところ上昇テンポが鈍化している。

先行きについては、当面、弱さが残るものの、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、通商問題を巡る動向、中国経済の先行き、英国のEU離脱、中東地域を巡る情勢等の海外経済の動向や金融資本市場の変動の影響に加え、消費税率引上げ後の消費者マインドの動向に留意する必要がある。

III 東北の経済動向（東北経済産業局 管内の経済動向 令和2年1月16日）

足踏み状態となっている

鉱工業生産：このところ弱含んでいる

個人消費：足踏み状態となっている

住宅着工：高水準にあるが、減少している

公共投資：復興事業により高水準にあるが、このところ減少している

設備投資：横ばいとなっている

雇用：改善している

企業倒産：小康状態が続いている